

1 計画の概要

第3期行田市地域福祉推進計画（令和2年～令和6年度）

第3期計画の基本理念

誰もがお互いに支えあい、
自分らしく生き生きと暮らせる共生のまち 行田

課題

- 1 地域の担い手の不足、地域のつながりの希薄化
- 2 地域生活課題を抱える人の増加
- 3 災害や地域安全などに対する不安
- 4 制度の狭間のニーズへの対応

計画の推進体制

市、社会福祉協議会、市民、地域が役割を認識し、課題を共有して取り組み、地域住民を主体とする地域福祉活動を推進する。

① 市の役割

関係機関や団体との連携を強化

地域福祉への市民参加の機会提供と情報提供の充実を図り、地域で安心して暮らせる社会づくりの整備に努める。

② 社会福祉協議会の役割

自治会などの地域福祉活動の協力者と積極的に交流する。

団体・機関と協働できる事業展開を進める。

③ 市民の役割

声かけや手伝いなど、取り組めることから始めることが期待される。

④ 地域の役割

交流を深め、市や社会福祉協議会との連携を強化し、活躍したい人がいかされる環境を整えることが望まれる。

⑤ 支えあいネットワークづくり

見守り体制の構築と地域における課題の解決を目指す。

基本目標と施策

- 1 地域のつながりを大切にする支えあいのまちづくり
 - 1-1 地域での相互理解の啓発と交流の促進
 - 1-2 地域での住民同士の支えあいの仕組みづくり
 - 1-3 ボランティア団体、NPOへの支援の充実
 - 1-4 地域福祉を支える担い手の育成
- 2 様々な福祉ニーズに対応できるまちづくり
 - 2-1 相談支援体制の拡充
 - 2-2 福祉サービスの推進
 - 2-3 福祉サービス提供の促進
- 3 誰もが生き生きと安心して暮らせるまちづくり
 - 3-1 権利擁護支援の推進
 - 3-2 社会参加の推進
 - 3-3 地域の安心・安全体制の充実
 - 3-4 人にやさしい環境づくり
- 4 地域のネットワークをいかしたまちづくり
 - 4-1 トータルサポート体制の充実
 - 4-2 身近な地域における福祉活動の推進